

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-1 生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進
---------	-------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	社会教育課長 福岡 直	電話番号	0852-22-5910
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	社会教育関係団体活性化事業		
目的	(1) 対象	社会教育関係団体	
	(2) 意図	社会教育関係団体に対する補助金や表彰により、社会教育関係団体の活動の活性化を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体が実施する人材養成等への支援を通じて、社会教育関係団体の活性化を図る。 (世界ジャンボリー派遣事業、) 少年団体活動の発展のため、少年団体に対し、優良団体を表彰する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	社会参加への意欲	目標値	700.0	700.0	700.0	700.0	人
	式・定義	連合婦人会研修参加者数	取組目標値					
			実績値	685.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	社会参加への意欲	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	団体
	式・定義	表彰団体数	取組目標値					
			実績値	2.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	814	35
うち一般財源 (千円)	814	35

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会の推薦があった少年団体を県で表彰した (H24: 2団体、H25: 5団体、H26: 3団体、H27: 2団体) 平成27年度は、県連合婦人会研修事業 (10万円)、第45回中国ブロックPTA研究大会島根県出雲大会 (40万円)、世界ジャンボリー派遣事業 (30万) の3事業へ助成した。 第45回中国ブロックPTA研究大会島根県出雲大会では、県内外より約2,200人が参加し、講演や実践発表を通じて、PTA活動について学んだ。 連合婦人会の実践活動研究集会への参加者が増加している。(H24: 646名⇒H27: 685名)
--

6. 成果があったこと (改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 表彰がメディアに取り上げられることで、活動のはげみになり、少年団体活動の活性化につながっている。 世界ジャンボリーへは、県内のボーイスカウト団員のうち43名が参加。キャンプ生活や島根の歴史や文化紹介を行うブースの運営、外国スカウトとの交流を通じて、団員の国際協力や貢献への意識向上へつながり、今後のスカウト活動の充実が図られる機会となった。 中国ブロックPTA研究大会へは、PTA関係者が県内外から約2,200人が集まった。 連合婦人会の研修会は、現代的課題を取り上げるなど参加者のニーズにあった研修会とする事で、参加者が増加した。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 優良少年団体表彰については、限られた市町村からの推薦が近年多い。 H24: 出雲市 2 H25: 松江市、安来市、出雲市、浜田市、美郷町 各1 H26: 松江市、出雲市、大田市 各1 H27: 団体推薦1、知夫村1
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰制度の周知や、少年団体活動の掘り起しが十分でない。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰対象となる少年団体活動の掘り起しができるよう、余裕のあるスケジュールで推薦依頼を出す必要がある。 各市町村担当者や派遣社会教育主事、各教育事務所の企画幹と連携し、研修等の機会を活用して、表彰制度の情報提供と活動の掘り起しをする必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> 表彰制度の周知や少年団体活動の掘り起しを通じて、県内少年団体活動の活性化を図っていく。

9. 追加評価 (任意記載)

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
